

# 保健医療計画における 基準病床数について

## 精神病床に係る基準病床の考え方

- 第8次医療計画における、精神病床に係る基準病床数については、その算定方法や考え方は、以下により示されている。
- 医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）別表第7（第30条の30関係）
  - 医療法第三十条の四第二項第十七号に規定する精神病床に係る基準病床数の算定に使用する数値等（平成18年厚生労働省告示第161号）
  - 医療計画について（令和5年3月31日付け医政発0331第16号厚生労働省医政局長通知）

（基準病床数の算定）

第三十条の三十 法第三十条の四第二項第十七号に規定する基準病床数（以下「基準病床数」という。）は、次の各号に定める区分ごとに当該各号に定める数とする。

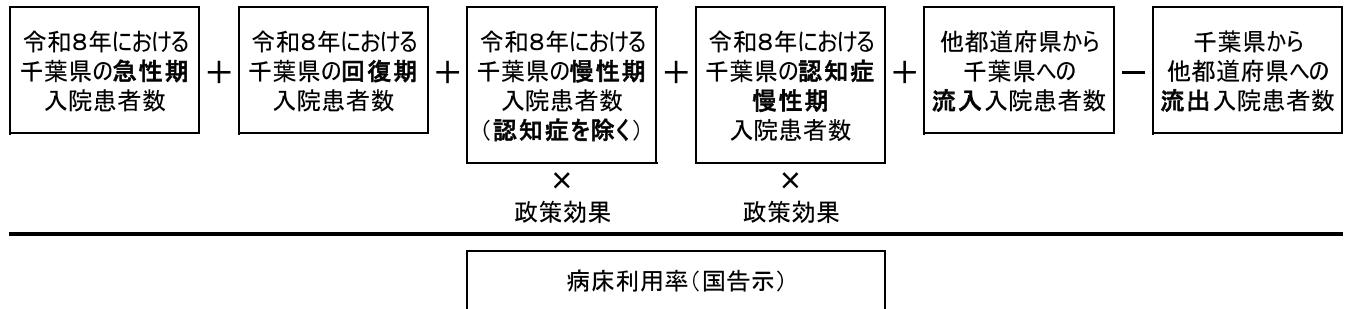
- 一 療養病床及び一般病床（略）
- 二 精神病床 都道府県の区域ごとに別表第七の三の項に掲げる式により算定した数

別表第七（第三十条の三十関係）

項	式
三	$(\sum A_2 B_3 + \sum A_2 B_4 + \sum A_2 B_5 \alpha \beta + \sum A_2 B_6 \gamma + C_3 - D_3) \div E_3$

## 基準病床数の計算

## 2 計算式



### 3 あてはめ

$$(2,223+1,790+4,880+650+1,200-600)\div 0.95=\underline{10,677\text{床}}$$

#### 4 保健医療計画における記載

病床の区分	基準病床数（床）	既存病床数（床）	差引（床）
精神病床	10,677	12,135	1,458